

初回発作の再発リスクについて

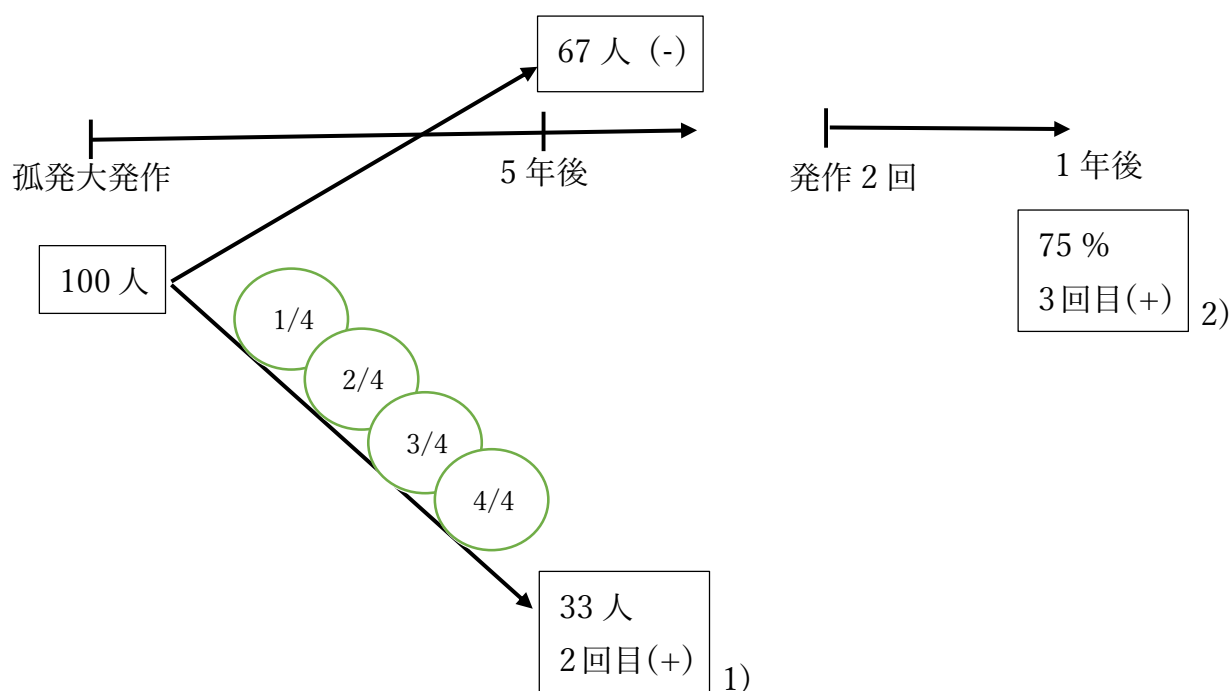
初めて発作が起こった時に、5年以内に2回目の発作を起こす割合は1/3とされています。また2回目の発作が起きる場合はほとんどが1年以内のことが多いです。

仮に100人の人に1回目の発作が起こったとすると、そのうち33人の人は5年以内に再発し、残りの67人は再発せず、1回きりで終わります。

どのような人が再発する33人になるかという点、以下の4つの点に合致するほどその可能性が高くなると考えられています。

- ① 脳MRI検査で異常があること
- ② 脳波検査で異常があること
- ③ 血のつながった家族にてんかんや熱性けいれんの既往があること
- ④ 診察で神経学的に異常があること

初めて発作が起こった時に、上に示した4つの点に合致する数が多いければ、再発する可能性が高いため、予防のために抗てんかん薬の治療を始めることがあります。全く合致しないようならば、抗てんかん薬を使わずにそのまま様子を見ることがあります。



- 文献：
- 1) Hauser WA et al, Risk of recurrent seizures after two unprovoked seizures. N Engl J Med. 1998; 338(7): 429-434.
 - 2) Hauser WA et al, Seizure recurrence after a first unprovoked seizure. N Engl J Med. 1982; 307(9): 522-528